



<https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/> 江戸川総合人生大学同窓会



3年ぶりに大学祭がリアル開催

第16回江戸川総合人生大学祭が7月23日に
タワーホール船堀にて開催されました。
テーマは「学ぶ 羽ばたく 友とともに」です。
卒業生の活躍を紹介する「楽しい同窓会」をテーマ
にしたブースを1F展示ホールに設けました。
最後には同窓会・在校生が輪になり「えどちゃん音頭」
と「炭坑節」を踊り、素晴らしいフィナーレを
迎える事ができました。
コロナ禍での大学祭開催ではありましたが、無事成功裏
に終わりました。来場者は総数795名でした。



えどがわインドダンサーズ
煌びやかな衣装、踊り！



粋踊会は社交ダンスで華麗
なパフォーマンスを披露



フリージアの清楚な歌声に
会場もうっとり



お湯の富士音頭で最高の
盛り上がり



楽しい同窓会 同窓会ってどんなところ？
1階の同窓会ブースにて数人の訪問者から
同窓会入会についての質問を受け、大学祭
において同窓会を十分アピールすることが
できました。

大学祭の事前準備や当日の様子は
同窓会ホームページで動画配信し
ています。右のQRコードからぜ
ひアクセスしてみてください。



3階産業振興センターの同窓会コーナーでは活動グループ全体や
クラブ活動を紹介するパネル展示コーナーのほか、バルーンを
各所に配置して楽しませてくれました。
「切り絵」「折り紙」コーナーもあり、懐かしい仲間たちとの
再会に話も弾んで、楽しい交流の場となりました。





TOP MESSAGE

江戸川総合人生大学同窓会会長

松浦 松子 Matsuura Matsuko

魅力ある同窓会を目指して

地域の方々と共に地域で輝く会員を支えていくのが同窓会の役割であり、存在意義と考えます。同窓会と在校生は車の両輪であり、この両輪を輝かせるために同窓会は支援していきます。



同窓会の運営について

常に会員の声に耳を傾け、できるところから改善に繋げていきます。すぐ行動する、立ち止まらない、努力する、そんなスタイルでこれからも運営を心掛けます。

同窓会が抱えている問題

大きく分けて三つあると思います。

一つ目はコロナ禍で会員相互をつなぐ場が作りにくいこと。2023年は感染のリスクがなく楽しめる場が持てるようになると良いと考えます。

二つ目の問題とはクラス幹事になって頂ける方が少ないこと。同窓会第16期ではクラス幹事として時間を割いてご活躍頂いていることに配慮をしていきます。

三つ目の問題とは部会等の運営です。15期では部会に所属される方が少なく運営に支障をきたすほどでした。16期ではクラス幹事さんは、原則としていずれかの部会等に所属することをお願いしその方のできるところで、ご活躍いただきたいと考えております。

新たな挑戦

会員の方々に少しでも同窓会のことを知って、愛着と誇りを持てるようになって頂ければと考えています。同窓会とは、このような組織であり、同窓会を応援して下さる方がいることを知ることが、もしかして同窓会の一員であるとの誇りに繋がるのではないかと思います。そのために現状をお知らせする「四半期報」

(1、4、7、10月に発行)を作り会員にお届けしたいし、在校生には同窓会紹介チラシや同窓会だよりをお届けし、良好な関係を築き同窓会加入へと繋げていきたいと考えております。

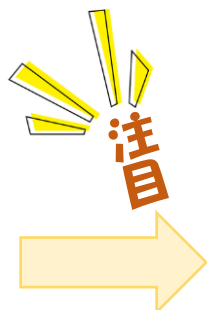
最後に

10月24日の総会には15期の活動報告、16期の活動方針などをご説明いたします。

総会にご出席頂き、疑問や質問を挙げていただければと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

人生大学入学案内に同窓会紹介記事が掲載されました！



卒業後の活動

卒業生の多くは、人生大学での学びを活かしたより良い地域づくりのため、個人またはグループで様々な地域活動団体を立ち上げ、積極的に活動しています。

江戸川総合人生大学同窓会

人生大学での2年間の学びを活かし卒業後も地域貢献に寄与するため、2008年4月に設立されました。地域活動グループ同士の情報交換や学年を超えた親睦・交流のサポートを行っています。



ホームページ

江戸川総合人生大学

入学案内 2022



「在校生と人大ボラ連の集い」 開催報告

人大ボランティア連絡会世話人会では、8月22日（月）第9回「在校生と人大ボラ連の集い」を開催しました。この集いは、活動する仲間を確保したい活動グループと社会活動する場を求める在校生が一同に集まり情報提供、意見交換する場として毎年開催しているものです。



2020年はコロナ禍のため開催できませんでしたが、2021年はこの集いは在校生にとっても活動グループにとっても絶対に必要な場であるとの認識のもと、人大事務局と協力して万全の感染対策を実施の上開催しました。本年もコロナ禍はまだまだ収まらない中ですが、昨年の反省を踏まえ、在校生・活動グループにとってより有効・有益な場とする工夫をして実施しました。具体的には、一同に集まった全学科在校生に対して活動グループが学科毎に入れ替わる方式とし、在校生に対して十分なプレゼン時間を確保するとともに個別懇談をしやすい形を採るなど改善しました。

当日は、在校生48人、活動グループ26団体が参加しました。活動グループの中でも、コロナ禍で社会的ニーズがより高まっているもの、リモートを利用して活動展開しているもの、やり方を工夫しながら活動を継続しているもの、活動を控えているもの等、状況により様々です。それでも共通してコロナ後も見据えて活動を継続・発展させるための人材を確保したいとの思いが強く感じられました。また、在校生の皆様が活動グループのプレゼンを見守る真摯な眼差しと実践的な内容の質疑から、社会活動の場を求める熱意をひしひしと感じ取ることができました。開催に向けてご尽力頂いた大学事務局の皆様、同窓会関係者の皆様には心から感謝しております。人大ボラ連世話人会では、今後も在校生と活動グループを結びつける活動に注力していきます。どうぞよろしくお願い致します。

人大ボランティア連絡会世話人会代表 門田 信雄



まちづくり関連グループ



介護熟年関連グループ



子ども支援関連グループ



外国の方関連グループ



フードバンクジョイライフがSDGs環境未来賞受賞

6月5日江戸川区よりSDGsへの取り組みを評価いただき、フードバンクジョイライフが第一回SDGs環境未来賞をいただきました。

2017年3月子ども12期同期の方の持ち家の一部を無料で借り入れ、6月江戸川区第一号のフードバンクをオープンしました。初回は受益者ゼロでしたが、その後着実に受益者が増え、月2回の配布で各20世帯くらいお役に立つことができました。

2019年5月諸般の事情から別の組織を立ち上げました。現在の「フードバンクジョイライフ」の誕生です。まさに、私の信条である「一に勢い、二に情熱、三に根性」が実現した瞬間でした。

2020年6月篠崎文化プラザでフードドライブを開始し、多いときは90kgの食材が集まりました。

2021年配布の拠点が2か所（一之江、南葛西）になり、受益者が40世帯を超えました。

現在では、個人、スーパー、生協、福祉団体、区内の小松菜農家から、食材やお米の提供を受けています。

フードバンクジョイライフでは、一世帯に7kg以上の食材を毎回お渡ししています。これにより昨年は1200世帯に食材を届けることができ、約7トンのフードロスを無くすことができました。



今回の受賞は、会員皆の力の結集と継続の結果です。お役立ちの輪をさらに広げフードバンクが社会の「食のセーフティネット」となるべく、一歩ずつ確実に歩みを進めます。



「愛と信頼を礎にして」

子育てささえあい学科
12期 高橋 信行

information

令和4年度江戸川総合人生大学卒業式開催

9月12日（月）午前10時からタワーホール船堀で令和4年度江戸川総合人生大学卒業式が行われ、第16期57名の皆様が卒業されました。

同窓会からは松浦会長他数名が出席しました。

同窓会会員数も16期生36名を加えて総数441名になりました。

令和4年度江戸川総合人生大学入学式開催

10月5日（水）午後3時から第18期江戸川総合人生大学入学式が東部フレンドホールに於いて行われます。

総勢112名の皆様がご入学されます。

おめでとうございます。

第16回 同窓会総会開催のお知らせ

日時 10月24日（月） 14:30～17:30（受付開始13:45）
場所 江戸川区総合文化センター研修室

年に1度の総会は会員様のご意見を伝える事ができる日です。皆様のご出席をお待ちしております。

ご寄付のお礼

本年7月「折り紙サークル4期生の入会（いりあい）」さんより6,200円のご寄付を頂きました。ご厚志に感謝し、同窓会活動の前進のために活用させていただきます。

編集後記

今年は皆様が待ち望んでいた「大学祭」が久しぶりに開催されました。同窓会会員が一生懸命「コロナ」を気にしながら、同窓会ブースのオープンに向けて努力する姿を拝見して、現役の頃を思い出しました。

編集委員

加藤道雄（まち11） 宇佐見かつ子（国際8） 黒田健司（国際13）
高津陽子（まち14） 品田正子（国際1） 川島多美子（介護6）
長谷川忠（国際6） 五十嵐英男（子ども10） 石井教文（国際14）
小越美子（国際15）